

- 元々、青果用カリフラワーとサニーレタス等を約3haで生産していたが、平成19年に事業継承を機に、規模拡大を検討していたところ、農協や近隣農家が加工・業務用野菜を取扱い始めたことから、同分野の取組を開始。加工・業務用は安定収入が見込めるため、労働生産性向上によるコスト削減効果が大きいと判断。
- 規模拡大を進める上で、労働生産性の観点から、品目をキャベツ、ブロッコリー、たまねぎに集約。現在、キャベツとたまねぎは全量を加工・業務用として契約取引している。また、国庫補助事業を活用し、ホイールローダー、トラクターや乗用定植機（用途に合わせて複数）を導入。複数の契約先に対し、鉄コンテナによる規格の統一を提案し、出荷作業の効率化を実現。
- 当初は、農協に出荷していたが、口コミや契約先からの紹介を通じて契約数が拡大。
- 新たに加工用ブロッコリーの導入を検討するとともに、GPS付き乗用移植機等、スマート農業技術の導入を進め、更なる栽培管理の効率化を図りたい。また、品質向上・安定出荷を実現するため保冷庫の整備も検討。

## 株式会社 Green Works

## ・会社概要

事業者名 株式会社 Green Works  
所在地 愛知県南知多町  
従業員数 社員6名、パート4名

・栽培面積：18 ha  
(キャベツ7ha、ブロッコリー4ha、  
たまねぎ3ha、スイートコーン2ha等)

・年間生産数量(R5年度実績)  
キャベツ 500 t  
ブロッコリー 60 t  
たまねぎ 200 t  
(うちキャベツ、たまねぎは全量加工・  
業務用:700t)



## 加工・業務用野菜の取組

・定植機、管理機、  
等機械化を推進

・出荷規格の統一、  
簡素化による出荷作  
業の効率化

・鉄コンテナによる  
出荷



## 実需者

中間事業者：5～6社

実需者との直接取引

- A社（カット野菜メーカー）【茨城県】
- B社（食品販売メーカー）【静岡県】
- C社（食品製造メーカー）【岐阜県】
- D社（一次加工業者）【愛知県】
- E社（小売店）【愛知県】

【販売】

直接取引

## 作付面積の推移

栽培面積 (ha)

